

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号 : 8703 東証1部)
 代表執行役社長 斎藤 正勝

2009年6月30日

「三菱UFJリサーチ&コンサルティングレポート」をお客さま向けに無料提供
 ~これを記念し同社執行役員調査部長の五十嵐敬喜氏を講師に迎え「株スクールin日経ホール」を開催~

カブドットコム証券株式会社は、2009年7月2日（木）から、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（代表取締役社長：水野俊秀）の「三菱UFJリサーチ&コンサルティングレポート」を、当社のお客さま向けに無料で提供いたします。これにより、既存の最新ニュース、銘柄情報、投資ストラテジー、アナリストレポートなどに、内外マクロレポートも加わることとなり、幅広い視点から網羅した充実の投資情報サービスとなります。

これを記念して、2009年8月1日（土）に開催する投資勉強会「株スクールin日経ホール」に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の執行役員調査部長 五十嵐敬喜 氏を講師に迎えご講演いただきます。

● 「三菱UFJリサーチ&コンサルティングレポート」の概要

「三菱UFJリサーチ&コンサルティングレポート」は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの緻密なマクロ経済分析で定評のある経済調査部門が、グローバルな視点と独自の手法で、内外経済や市場の動向を的確に据え、その先行きを予測し、読者が経済の仕組みについて理解を深められるよう平易で明解な内容で配信するものです。

内容	随时配信	調査と展望 調査レポート けいざい早わかり	中国経済レポート 日銀短観・GDP速報の予測・結果
	月次配信	グラフで見る景気予報 日本経済ウォッチ 米国・欧州主要国の景気概況 コモディティ・レポート	アジア経済概況 国際マネーフローレポート Global Watch
	四半期毎配信	日本経済短期見通し	
	半期毎配信	ボーナス見通し（夏・冬）	
	年度毎配信	日本経済中期見通し	アジア経済見通し
配信レポート数	月間10~20本程度		
利用料	無料		

● 投資勉強会「株スクールin日経ホール」の開催

「三菱UFJリサーチ&コンサルティングレポート」の提供開始を記念して、新聞、テレビでご活躍されている同社執行役員 調査部長五十嵐敬喜氏を講師にお招きし、投資勉強会「株スクールin日経ホール」を開催いたします。

このセミナーには、当社投資情報室長マーケットアナリスト山田勉や、当社投資情報室マ

一ケットストラテジスト河合達憲も出演予定です。

【株スクールin日経ホール】

日程	2009年8月1日（土） *午後開始予定
場所	日経ホール *東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル3階
お申込	開催日1ヶ月から2週間前頃に、当社サイトでお申込み受付をいたします。
参加	無料

● カブドットコム証券で提供する主なレポート・ニュース等

MUF G各社が配信する各種レポート、1日数十本配信される三菱UFJ証券リサーチレポート、当社オリジナルの投資情報を配信している「投資情報室」が提供するレポート、1日数百本のニュースが24時間リアルタイムで配信されるロイター・ニュースや株式新聞速報ニュース等の豊富なニュース、などに加え、マクロ経済分析に強みを持つ三菱UFJリサーチ＆コンサルティングのレポートを提供することにより、幅広い視点から網羅した充実の投資情報サービスとなります。

○ 三菱UFJ証券リサーチレポート 【無料】

三菱UFJ証券のストラテジストやアナリストが作成する月間数百本のレポートを無料でご覧いただけるサービスです。マクロ経済からセクター別業界動向、個別銘柄に関するレポートまで網羅しています。

○ kabu.com投資情報室 【無料】

お客さま向けに無料配信するオリジナル投資情報サービスです。投資情報室長であるマーケットアナリスト山田勉を筆頭に、マーケットストラテジスト河合達憲、マーケットアナリスト藤本誠之、執行役臼田琢美といった、テレビ・新聞・雑誌などにも登場している当社役職員が、日々のマーケット動向から投資手法や金融最新情報までをわかりやすく解説しています。

○ MUF G各社が配信する各種レポート

・ 三菱経済研究所レポート（経済の進路） 【無料】

三菱経済研究所提供の世界経済から政治、そして身近な経済のテーマまで、内外経済の動向および問題点をわかりやすくして簡潔に解説された経済レポートです。

・ 三菱UFJ投信マーケットレポート 【無料】

三菱UFJ投信株式会社提供のレポートで、毎日9:00頃更新のモーニングサマリー、毎月初更新の「マーケット・マンスリー」があります。マーケット・マンスリーは、為替、日本株式、日本債券、海外地域毎の株式や債券、商品など多岐にわたっています。

・ 三菱東京UFJ銀行為替情報 【無料】

三菱東京UFJ銀行提供の為替相場見通しやチャート分析などのウィークリー情報です。各種レポートのバックナンバーもご覧いただけます。

○ ロイター・ニュース 【無料】

お客さま向けに無料で提供しているマーケット情報内で配信しているトムソン・ロイター社提供のニュースです。国内株式市況、為替市況、債券・金利市況等の国内ニュース、海外トップニュース、米国・欧州・アジア株式市況、海外為替市況等の海外ニュースとともに24時間リアルタイムで取得できる豊富な情報源としてご活用いただけます。

○ 株式新聞速報ニュース 【無料】

お客さま向けに無料で提供しているマーケット情報内で配信しているモーニングスター社提供のニュースです。ニュース記事を入手後、都度配信されるため、ホットなニュースをタイムリーにご覧いただけます。

<サンプル画面> *開発中につき実際と異なる場合があります。

マイページ

お取引

資産管理

入出金・入出庫

投資情報

設定・申込 サポート

マーケット情報

経済検索

情報ツール

カブコール

レポート

ランキング

IR情報

kabustudio

印 刷 (このページの印刷)

三菱UFJ証券

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

他MUFG

投資情報室

QUICKリサーチネット

三菱UFJリサーチ&コンサルティングレポート

無料サービス

更新

カテゴリー選択

調査と展望

調査レポート

[九月] 早わかり

中国経済レポート

日銀金融・GDP速報

原油レポート

グラフで見る景気予測

日本経済ウォッチ

米国・欧州主要国の景気概況

アジア経済概況

国際マネーフロー

Global Watch

日本経済短期見通し

米国経済見通し

ボーナス見通し(夏)

日本経済中期見通し

アジア経済見通し

銘柄コード・タイトル

検索

バックナンバー

2009年5月

日 月 火 水 木 金 土

1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

31

[前月] [今月]

その他条件による検索

市場 指定なし 業種 指定なし レポートの種類 指定なし

レーティング 指定なし 検討指定 当日 ~ 90日前

検索

※レポートのレーティングや内容は作成時ににおけるものであり、現時点と相違する場合がございます。

※証券・金融データベースとQUICK企業研究所が発信するアーリストコメントを融合させたQUICKリサーチネットもご利用ください。

※株式投資は、株価の実動により元本を割り込み損失を被ることがあります。お取引に際しては、上場有価証券等を面倒よくお読みください。

◎ MURC/Global Watch 提載日:2009/06/15

[Global Watch: June 2009 \(Japanese Economy\) \(135KB\)](#)

◎ MURC/米国・欧州主要国の景気概要 提載日:2009/06/12

[米国・欧州主要国の景気概要\(2009年6月\) \(30KB\)](#)

◎ MURC/日本経済短期見通し 提載日:2009/06/11

[2009年1~3月期のGDP\(2次速報\)結果 \(55KB\)](#)

◎ MURC/アジア経済概況 提載日:2009/06/10

[アジア経済概況\(2009年5・6月\) \(32KB\)](#)

◎ MURC/国際マネーフロー 提載日:2009/06/10

[減少した英国経由の投資マネー \(115KB\)](#)

◎ MURC/日本経済短期見通し 提載日:2009/06/09

[Forecast for the Japanese Economy in Fiscal 2009 and 2010: May 2009 \(35KB\)](#)

お客様へのお知らせ履歴

- 未読2件(▲重要件)
- ・ パスワード変更のお勧め…
- ・ お電話カンタン認証登録…

お取引関連通知

ピックアップサービス

- [カブボードフラッシュ](#)
- [カブボード](#)
- [kabuマシン](#)
- [投資分析ツール](#)
- [kabu.comPTS](#)
- [スーパー証券口座](#)

パーソナルメニュー取扱情報

- お気に入り [追加](#) [削除](#)
- お気に入り一覧 [* 記録](#)

株式市況ニュース

- 06:47 [日本の国内・海外情勢…](#)
- 15:15 [kabu.comPTS…](#)
- 06:58 [太陽光…](#)
- 06:59 [今日のまーけっと…](#)
- 06:44 [今朝の外資系証券!3社…](#)

先物OPニュース

- [\[動画\]](#)

<レポートサンプル>

調査レポート 0 9 / 1 4

2 0 0 9 年 6 月 1 2 日

2009／2010 年度経済見通し（2009 年 6 月）

(2 次 QE 反映後)

～秋以降に現れてくる日本経済の実力～

<要 旨>

- 今年 1~3 月期の実質 GDP 成長率は前期に続き戦後最大のマイナス成長を記録したが、輸出や生産に持ち直しの動きが出るなど最悪期を脱してきている。ただ、今年夏ごろまでの景気回復の道筋は見えてきたが、秋以降の展望はなかなかはっきりしない。
- 景気が後退から回復に転じる時に力となるのは、「在庫調整の進展に伴う自律的な回復」である。ただ、今回のように経済情勢が極めて厳しいときには政府が大型の経済対策を策定するため、「政策を通じた需要の追加・誘発による回復」が成長率に影響することになる。夏に向けて日本経済に持ち直しの動きが出てくるのは、この 2 つの回復に負うところが大きい。
- しかし、どちらの回復も長く続くものではない。今年度後半以降は自律的な回復は一巡し、2010 年度になれば政策効果の剥落が予想される。持続的な景気の回復に自信が持てないのは、「国内・海外の最終需要の増加による基調的な回復」がかなり厳しいと予想されるからだ。世界経済はマイナス成長から脱してきても 2000 年代半ばの 5% 成長に戻るわけではない。また、国内では経済活動水準の低下に合わせた設備や雇用の過剰問題の解消が課題になってくる。設備投資はしばらく減少が見込まれ、個人消費も低迷が予想される。
- 「V」字回復が難しいというのももともと大方の認識であったが、景気に持ち直しの

